

令和6年度 9月～10月の傷害・賠償事故発生状況

事故のほとんどが『ちょっとした不注意・無理な行動』によるものです。

事故は他人事と考えず全会員が安全意識向上に努めましょう。

◆ 傷害事故について

9月は、就業中、熱中症による体調不良2件、傷害事故2件、自転車による転倒事故1件
10月は、就業中、転倒事故2件発生しました。

気を付けて!!

No	月 日	性別 年齢	仕事の 内容等	事故の状況	傷 害
1	9月2日	男性 73歳	屋外作業	小学校の正門で就業中、目の前が急に白くなり座り込んで、後方に倒れて市立病院へ救急搬送され治療を受けた	熱中症
2	9月2日	女性 80歳	屋内清掃作業	清掃作業中、業務用洗浄剤を誤って足元に落としてしまった時に、右足親指に当たり負傷してしまった	骨 折
3	9月6日	男性 73歳	植木剪定作業	植木の剪定作業中、蜂に刺され左手甲が腫れあがったため、病院で治療を受けた	刺 傷
4	9月9日	男性 74歳	屋外清掃作業	就業を終え、当センターで就業交代選考会の面接終了後、気分が悪くなり病院で受診したところ熱中症による体調不良と診断され点滴処置を受けた	熱中症
5	9月12日	女性 81歳	屋内清掃作業	自転車で就業先へ行くため、自転車に乗ろうとした時バランスを崩して転倒し、右腕を痛めてしまった	打 撲
6	10月7日	男性 70歳	屋内外作業	府立高校の校舎2階を巡回中、廊下が雨で濡れていたため、足を滑らせバランスを崩して転倒し、左手薬指を痛めてしまった	脱 臼
7	10月23日	女性 75歳	屋内清掃作業	清掃作業中、2階のトイレ掃除を終え、2階から1階へ降りる時、下から2段目のところで階段を踏み外し右足をひねったため、後ろ向きに転倒してしまった	じん帯 損 傷

《 過去5年間の傷害事故の発生状況 》

(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (10月末現在)
就業中	24	14	10	16	14	12
途上中	10	10	6	14	5	3
計	34	24	16	30	19	15

◆ 賠償事故について

9月は、物損による賠償事故はありませんでした。
10月は、物損による賠償事故が1件発生しました

注意してください!!

No	月 日	性別 年齢	事故の状況	賠償額
1	10月23日	男性 70歳	除草作業中、刈り払機を使用して草を刈っていたところ、誤って石を飛ばしてしまい、その石が一時停止していた車両に当たり左側後方のボディを損傷させてしまった	協議中

《 過去5年間の賠償事故の発生状況 》

(件・円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (10月末現在)
物 損	3	3	4	2	9	2
人 身	0	0	0	0	0	0
賠償合計金額	102,060	144,885	405,800	47,828	1,861,000	15,000

編 集 後 記

今年も『寒暖差疲労』、『寒暖差アレルギー』の季節です。『寒暖差疲労』の症状としては、肩こり、めまい、冷えの悪化、食欲不振など、『寒暖差アレルギー』の症状としては、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどアレルギー鼻炎に似ているけど目のかゆみ、充血等はなく、熱はないのにだるいなど。高齢者や女性は筋肉量が少ないことなどからどちらも陥りやすく、注意が必要だそうです。

対策としてもっとも有効なのは体を温めること。シャワーだけで済ませずに、しっかり湯船につかり、首、手首、足首などを温めてスムーズな血流を促すこと。また軽い運動、規則正しい生活、バランスの取れた食生活なども有効だそうです。どちらも陥らないようにして、元気にお過ごししてください。



健康に気をつけて生涯シルバー人材センターの会員でいてくださいね!!

今からはじめる骨づくり！ 働く人の骨の健康

近年の「転倒による骨折等」の労働災害は、特に60歳以上の女性が顕著です。※。しかし、骨粗しょう症やロコモティブシンドロームは高齢者だけが急になるわけではありません。年齢や性別を問わず、偏った食生活や過度なダイエットなどは、骨密度の低下や転倒などによる骨折につながる危険性があります。日ごろから、骨を強くするためにできることを実践しましょう。

※参考：厚生労働省「令和5年高年齢労働者の労働災害発生状況」

骨の病気を知ろう

骨粗しょう症とは・・・骨の強度が低下し、骨折しやすい状態のこと

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）とは・・・運動器の障害により「立つ」、「歩く」などの移動機能が低下した状態のこと

骨を強くしよう バランスのよい食事

いつもの献立の品数を増やすことで、多くの種類の食材をとり入れることが大切です。骨を強くするためには、カルシウムやたんぱく質をとるとよいでしょう。

また、これらの栄養素の働きを助けるビタミンDやビタミンKを併せてとりましょう。

自分の骨を知ろう 骨粗しょう症検診を受ける

骨量減少を早期に発見するために、検診を定期的を受け、自分の骨の状態をしりましょう。

骨を意識しよう 運動習慣をつける

骨を丈夫にするためには運動が必要です。

まずは、今より少しでも身体を動かすことを意識して、取り組んでいきましょう。

1日に必要な摂取量 出典：厚生労働省日本人の食事摂取基準（2020年版）

成人男性 カルシウム700mg～800mg たんぱく質 65g

成人女性 カルシウム650mg たんぱく質 50g

（「安全衛生かべしんぶん」抜粋 中央労働災害防止協会）